

2023 年秋 CV 実習報告書

文責：尾崎瑠音

令和 5 年 10 月 22 日（日）、私たちは第 12 回キャンパスビジットを開催致しました。受験間近の開催であり、募集人数も 40 名であったにも関わらず、高校生 1-3 年生、浪人生の計 37 名が参加してくれました。

このキャンパスビジットは、本学医学科への進学を考えている方や、本医学科に興味を持っている高校生等を対象にしたものです。毎年夏に行われる大学によるオープンキャンパスとは一味違い、有志学生から成る実行委員会が主体となり開催します。本学医学科の魅力や医学科生のキャンパスライフを紹介する他、実習機器体験や入試相談会など様々な企画を準備し、高校生の受験へのモチベーションアップにつながるよう今年も準備を進めてきました。

【当日の様子】

まず長崎大学医学部先端医育センターの田中邦彦先生よりご挨拶を頂きました。

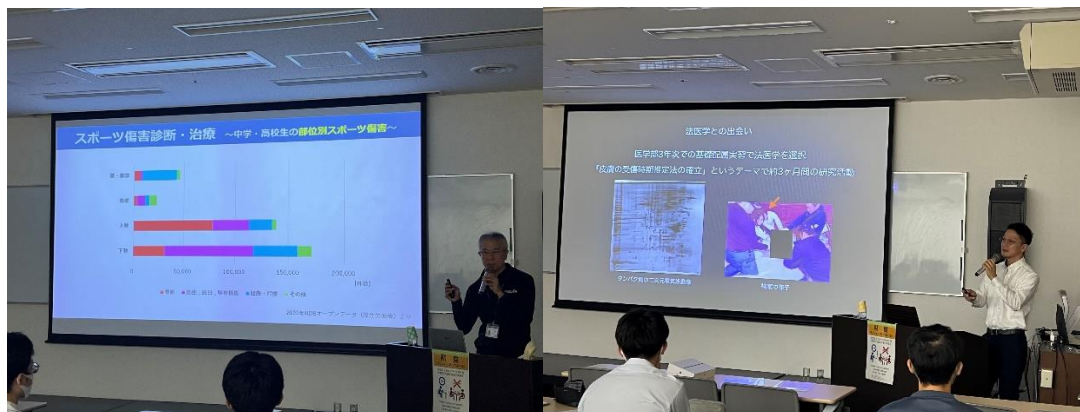


1 時間目の在校生講話では、1 年関と 3 年尾崎が大学受験での体験や学生生活について説明しました。関からは医学部を目指すまでの決断や過程、受験勉強のポイントや心得を伝えました。一方で尾崎からは実際の医学部大学生活や長崎大学ならではのカリキュラムなどを説明しました。



2時間目には、2名の先生方が高校生に対してご自身のキャリアや医師になられたきっかけをお話ししてくださいました。

スポーツ医学診療センターの米倉暁彦先生は、高校生にわかりやすいよう部活での傷害例も交えながらスポーツ外傷についてお話ししてくださいました。法医学分野の村瀬先生は貴重なお写真と共に法医学との出会いや仕事についてお話ししてくださいました。



今回のプログラムでは、日頃の大学同様 1 時間ごとに区切り、休憩時間と昼食タイムを取りました。そこでは学生スタッフと高校生が気軽に話をすることができ、とても有意義な時間になったと感じています。



午後の3-4時間目は、シミュレーション機器体験を実施しました。

① 心筋梗塞をテーマとして心電図の機械を実際に扱ってみる実習

② エコーや呼吸音のシミュレーターを扱う実習

以上の2つをそれぞれ40分ずつ体験してもらいました。

日頃触れることのできない機器を実際に使いその意義を学ぶことは、高校生はもちろん我々学生スタッフにとっても貴重な体験でした。アンケートでも実習タイムが良かったという声がたくさん届きました。

① 心電図の機械を実際に扱ってみる実習↓



② エコーや呼吸音のシミュレーターを扱う実習↓



閉会時には医歯薬総合科のマスコットキャラクター、いしやっちゃんも登場し、写真撮影をするなど手元に残る思い出も作ることが出来ました。

解散後も希望制の座談会があり、プログラムには入りきらなかった詳細な話や、各自の疑問に沿った話をする事が出来ました。



夏に引き続き対面での開催が実現しました。やはり直接見る、聞く、触れる体験は印象に残ると我々学生も実感致しました。受験に近い時期ということもあり、オンライン開催やハイブリッド開催と迷いましたが、対面での開催にして良かったと感じます。

今後も長崎大学医学部を目指す方に少しでもお力添えできるキャンパスビジットを企画し続けるとともに、対面開催のデメリットである、①遠方の高校生が参加しにくい、②参加人数に限られる、2点を改善すべく、出張オープンキャンパスとの協力や学生スタッフの増員も視野に精進致します。

最後になりましたが、参加して下さった高校生の皆様、大学関係者の皆様、本当にありがとうございました。特に、泉川先生をはじめ、開会閉会時に御言葉をくださった田中邦彦先生、ご講演いただきました米倉暁彦先生、村瀬壮彦先生、実習に関して様々ご指導いただきました、大学病院シミュレーションセンターの高山隼人先生、中山龍彦先生、内臓機能生理学の井上剛先生に心より御礼申し上げます。

実行委員の至らぬ点が多く、ご迷惑をおかけしましたことも多々ありましたが、皆様のお力添えがあり、無事に第12回キャンパスビジットを開催することが出来ました。

引き続きキャンパスビジットをよろしく願いいたします。